

令和3年度 県立学校プロジェクト学習推進事業  
実施報告書【課題実践校用】

学校番号	22
学校名	富山県立呉羽高等学校

学校の現状と課題	校訓「心豊かに道を究む」を教育目標とし、創校以来活力ある学校づくりを追究し、本校の特色を生かす教育を実践してきた。一方、目的意識、意欲に乏しく、受動的な生徒も目立つ。来年度創立40周年を迎え、これまでの伝統を尊重しつつ、改めて創校理念に基づく新しい校風の樹立を目指している。	
テーマ(特色)	進取の気象を持ち、理知的で感性豊かな生徒を育てる	
設定した「テーマ」の達成状況	音楽コースのある普通科進学校としての特色を生かし、諸行事での集団活動や個々の役割を通して、発表力、表現力など自己を生かす能力を養い、豊かな人間関係を育むことを目指した。新型コロナの影響で実施できない行事はあったものの、日々の授業や部活動などの成果を発表、展示の形で保護者、地域にも知ってもらうことができた。また、令和4年度に向けて「総合的な探究の時間」の内容を充実、深化させるため、教員を対象とした研修会を開催した。	
実施内容 (具体的に記入する)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度に向けて「総合的な探究の時間」の内容を充実、深化させるため、前田健志氏(合同会社 楽しい学校コンサルタントSecond代表)を招き、本校教員を対象に4回研修会を実施した。生徒が自主的に取り組む探究活動について適切なアドバイスをいただき大変参考になった。</li> <li>・1年生音楽選択者を対象に本校を会場としてミュージカル発表会を開いた。新型コロナ感染防止のため、場所や聴衆の数を制限したが、生徒は日頃培った技術や表現力を披露することができた。</li> <li>・響展は、富山市民プラザを会場とし、日頃の文化活動の成果を広く地域の方々に発表した。</li> <li>・呉高芸術祭および野ばらのコンサートは、新型コロナ感染拡大防止の観点からやむを得ず中止としたが、次年度の開催に向け、特に芸術祭については規模・内容を検討しつつ、全学年、すべての生徒が参加し、より高い芸術的、文化的内容をもった企画を検討することとした。</li> </ul>	
取組による成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	<p>「主体的な学び」を進めていくうえで、「総合的な探究の時間」の役割は大きい。今年度の教員研修でその進め方について検討できたことで、今後の学習内容の充実につながる事が期待される。一方で、教員間で取り組みへの温度差があり、指導的な役割を果たす人材の育成と継続的な運営組織の確立を図る必要があり、教員からも次年度以降の研修会実施を要望する声が多い。</p> <p>・本校の「豊かな心」と「自己理解を深め、主体的に取り組む力」を伸ばし、将来グローバルな視点を持って活躍する生徒を育てるという方針にも合致したこのプロジェクト学習推進事業により、授業や学校行事等に積極的に参加する生徒が増えてきており、得られた成果が自信につながっている。</p>	
対象者(学年・人数など)	1、2、3学年(687名)および本校教職員	
実施実績	4月	エイプリルコンサート(本校にて実施)
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	
	9月	呉高芸術祭、野ばらのコンサート(中止)
	10月	
	11月	
	12月	
	1月	探究学習研修会
	2月	ミュージカル発表会(1年生対象。本校にて実施)、探究学習検討会(2回)
	3月	響展(富山市民プラザ)、探究学習検討会